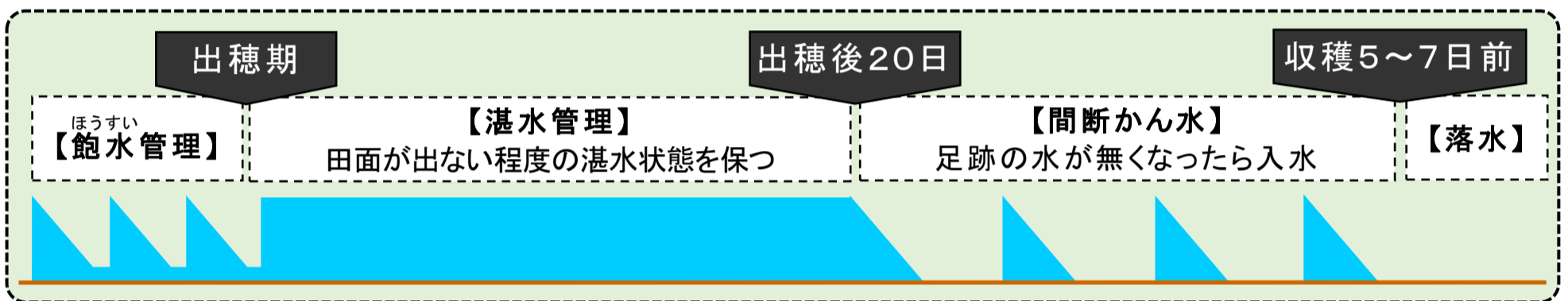


- 現在のコシヒカリの生育は、概ね平年並みとなっています。今後、平年並みの気温で推移した場合の出穂期は7月30日頃になると見込まれます。
- 出穂後20日間は「湛水管理」、その後は収穫5～7日前まで「間断かん水」を行いましょ。
- 今年はカメムシ類の発生が多く、クモヘリカメムシ等の大型カメムシも目立ちます。適期防除で斑点米の発生を防止しましょ。カメムシ類の常発地等では随時防除を行いましょ。
- 適期刈取と適正な乾燥調製で、胴割米の発生を防ぎましょ。

1. 出穂後の水管理

～フェーンや高温時には事前に湛水～

- 出穂後20日間は、湛水状態を保ち、稲体の活力を維持しましょ。
- 収穫の5～7日前までは「間断かん水」を行い、胴割米の発生を防止しましょ。
- ※フェーン現象等、高温乾燥が予想される場合は、事前に入水しましょ。



2. 病害虫防除の徹底

～カメムシ対策 第6回～

～出穂状況を確認し、適期に防除～

- 畦畔や雑草地ではイネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底し、カメムシ類が発生しにくい環境づくりに努めましょ(約3週間間隔)。
- ※ほ場内のヒエも穂が出る前に抜き取りましょ。
- やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、本田薬剤防除の直前に行いましょ。
- 本田防除は穂揃期(8～9割出穂した頃)とその7日後の2回、確実に実施しましょ。(防除時期は下表を参考に水稻の出穂状況を確認して決めましょ。)
- 防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないようにしましょ。



品種 (田植時期)	コシヒカリ (5/11 植え)	てんこもり (5/15 植え)	薬剤名		希釈倍数 10a 当たり 散布量	対象 病害虫
出穂予想	7/29～7/31	8/3～8/5				
1回目 穂揃期	8/1～8/3	8/6～8/8	粉剤	ビームスタークル粉剤5DL	4kg	いもち病 カメムシ類 ウンカ類
			液剤	ビームエイトスタークルゾル	1,000 倍 100～150ℓ	
2回目 傾穂期	8/8～8/10	8/13～8/15	粉剤	キラップ粉剤DL*	4kg	カメムシ類 ウンカ類
			液剤	キラップフロアブル*	1,000 倍 100～150ℓ	
3回目 【随時】	(多発時) 収穫7日前まで		粉剤	スタークル粉剤DL	3kg	カメムシ類 ウンカ類
			液剤	スタークル液剤 10	1,000 倍 100～150ℓ	

※キラップ粉剤DL、キラップフロアブルともに使用時期は収穫14日前まで

畦畔まで薬剤が
かかるように
防除しましょ!



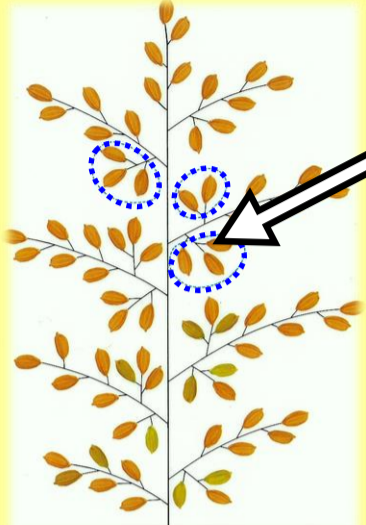
農薬危害防止運動実施中! (4/1～9/30)

- 住宅地周辺で散布する場合は事前に周知し、飛散防止を徹底
- 使用前には必ずラベルで作物名・使用方法等を確認
- 農薬は適切に保管・管理し、使用した場合は必ず記帳
- 農薬を調整・散布する時は、マスクなど防護装備を正しく着用


3. 適期刈取

～適期刈取で胴割米発生防止！～

- 刈取前に、ほ場内のゴミやクサネム等の雑草を除去し、異物の混入を防止しましょう。
また、コンバインや乾燥機等の機械・施設の清掃を徹底しましょう。
- ほ場ごとに籾の黄化状況を確認して、黄化率85%のほ場から刈取りを開始（高温登熟時は80%から）し、適期内に収穫を終え、刈遅れによる胴割れを防ぎましょう。



刈取適期：「籾黄化率 85～90%」
上位3番目と4番目の二次枝梗籾が黄化した頃
※高温登熟時は黄化率80%から刈取り開始



青未熟 整粒 胴割

刈取時期の目安

- ・早生：出穂後35日頃
（高温登熟時は32日頃）
- ・中生：出穂後40日頃
（高温登熟時は35日頃）
- ・晩生：出穂後45日頃
（高温登熟時は40日頃）

4. 適正な乾燥調製

～玄米仕上げ水分は14.5%～15.0%！～

1 過乾燥米の発生防止

- ・ヤケ米発生防止のため、収穫後4時間以内に籾を乾燥機に張り込んで、直ちに2～3時間の通風乾燥を行いましょう。
- ・適正な送風温度や二段乾燥（籾水分が17%台で一時中断し水分を均一にする）等により、急激な乾燥を避け、玄米水分を14.5～15.0%に均一に仕上げましょう。
- ・青米の混入程度を確認し、乾燥機の停止水分を設定しましょう（表）。

表. 青米の混入程度と乾燥機停止水分の目安

100粒中の青米数	乾燥機の停止水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

2 肌ずれ米と籾混入の防止

- ・乾燥が終わった籾は常温に下がってから再度水分を測定して籾摺りしましょう。
- ・籾摺機のゴムロールが減っている場合や硬化している場合は新しいものと交換しましょう。
- ・籾摺機のロール間隙を調整し、玄米への籾の混入を防止しましょう。

3 屑米の除去

- ・選別は1.9mm（つくばSD2号は1.85mm）のふるいを用い、機種ごとの適正流量を守って、完全粒歩合を高めましょう。



4 適正な量目

- ・皆掛重量は、30.5kg（紙袋の場合）で出荷しましょう。



5. 農作業事故の防止

～とやまGAPに基づき安全な農作業を～

【熱中症対策】

- ・適度な休憩を取り、休憩時には必ず水分・塩分を補給しましょう。体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断し、体を冷やして水分・塩分を補給しましょう。

【刈払機】

- ・草刈り作業の際は、保護メガネ等の保護具や裾、袖口が締まっている作業服等を着用しましょう。刈払機の回転部に草などがからみついた場合は、エンジンを必ず止めましょう。

【コンバイン】

- ・コンバインの周辺に人や物がいないか、常に注意しましょう。扱胴部にワラなどが詰まった時は、必ずエンジンを止めましょう。

「水稻栽培履歴報告書」と「GAPシート」の提出期限のお知らせ

- ・早生品種は、**8月9日(金)**まで、中生・晩生品種は、**8月20日(火)**までに提出してください。